夕刊
磐城新聞
一月三十一日發行
〔日曜祭日翌日休刊〕
東京振替一〇八五五六五番

天氣豫報 小名濱測候所觀測
今晩も明日も北西の風晴

厄年を危く經過して
濱崎善三郎

九、百折不撓居士

佛敎では、由來生死の問題をやかましく云ふ。道元禪師か佛となる道を

佛となるにいとやすきみちあり、もろもろの惡をつくらず、生死に著するこころなく、一切衆生のためにあはれみふかくして上をうやまひ、下をあはれみ、よろづをいとふこころなく、ねがふこころなくて心におもふことなく、うれふることなき、これを佛となづく。

と說かれた。此の中にも『生死に著するところなく』とあり。蓮如上人の白骨の御文章にも

夫れ人間の浮生なる相をつらつら觀ずるに、凡そ果敢なきものは、此の世の始、中、終、幻の如くなる一期なり。

とある程です。私は學生時代圓覺寺の老師から『無』字の公案をいただいたのであつたが、此の『無』はそつちのけにして、爾來二十年私の心頭に去來したのは、生死の問題でありました。

靈魂が肉體の死と共に、完全に滅し去ることも、其時分やつと、はつきり合點がいきました。

そんなわけで、私は自分の戒名は、せめて生きてる間に自分でつけて置きたいと念じてゐました。特に一昨年の列車事故以來は、折角助かつた命だ、百までも長命したいものと、健康には萬全の注意をしてゐるが然し、そんなに運のよいことばかりあるもんではない今迄生きてゐたのが、有難いではないか、勿體ないではないか、先づ此の邊で自分の位牌でもこしらへて置かうと、昨十二年七月三十日、長男に書かせたのが此の『百折不撓居士』です『へこたれぬこじ』と、特に假名をつけました。八年前亡父の戒名『大慈院忍養謙德居士』も私がつけました。父は忍と謙の人であり座敷の床の額には『忍是萬德之母也』とありました。是は又餘談ですが醫者であつた私の愚兄は、癌で死ぬ直前、平生の無神無佛論者にも似ず坊さんを枕元に呼び、其諒解を得て『不拔良心居士』と自ら戒名をつけました。

2月1日

△東京大阪電話開通（明治三二）△山縣公薨去（大正一一）△支那海關に金單位制を採用す（昭和五）△文部大臣松田源治氏急逝（同一一）△日滿兩國時差撤廢（同一二）

講談
髑髏組（どくろぐみ）
(103) 林 圭兵衛 作
金子 士郎 畫
誘ひの罠 （三）

『然らは、與賞をお打明け申さう。實は拙者、貴殿とは古い面識――こう申さば貴殿にも御ゐ當。が御座らう、勢州石藥師の宿の丁字屋に於ける、生首持ち込んでの强請脅喝。あれは確が此の春で御座つた。あの時の上總權十郎。卽ち拙者で御座つた』

『うーむ、如何にも――』

始めてそれと氣が附いた刑部の顏色が變つた。

（扱ては策謀師（仲間に引入る魂膽か？）

黑猫お峰と云ひ、また此の上總權十郎と云ひあまりにも皮肉な運命の廻り合せに、刑部は自身の將來が空恐しくなつて來た。

『此の春に、あゝして貴殿に尻尾を卷いて退散をした拙者で御座るが、今では、此の江戸中で噂の高い、怪盜髑髏組の首領――』

『なた？』

『驚かされたか、島宗殿』

あまりの意外に刑部は、暫く言葉も出ない。

（扱てこそ訝かしき、此の部屋の構造）

『その髑髏組の首領が、拙者に願みとは？』

『左樣、此の春、石藥師の延命院裏と、丁字屋でしかと貴殿のお手並は拜見致した。實に稀れに見る當代の劍豪。其の腕前を見込んでのお願ひだ、仲間に這入つて貰ひたい』

『それは……』

『厭だとも仰せあるか？』

『……困る』

『貴公、たつた今、此の身で叶ふことなら、なんなりと、敎はれた此の生命にかけても――と申されたのでは御座らぬか』

『さ、それは申したが、まさか盜の仲間入りは出來兼ら』

『出來ぬとあらば……』

『何んとされる』

『秘密を明した貴公、並びに可哀さうだがそれなる二人――』

權十郎の眼が、陰の奥で蛇のやうに氣味の惡く光つであろ。勘太と小七は縮み上た。

『ご、ご、御勘辨を、あつし等は別に厭とは申しませぬ』

勘太が哀願すれば、小六が悲鳴をあげて

『だ、だ、だんなどうぞ御承知なすつておくんなせゑやし、そうでねえと、あつし等二人は折角助かつたのに、この生命をまた――どうぞ、あつし共を可哀さうだと思つて御承知なすつておくんなせえやし、こ、この通りで御座んす』と、刑部の腕に縋りついた。

だが、刑部は、凝つと面を伏せて身動きもしない。

その時、三挺の種ケ島が三方の壁穴から、銃口をそれ／＼三人に向けて居た刑部の返答如何に依つては、火蓋が切られるばかりになつて居る。

權十郎は、瞬きもしないやうして凝つと刑部の態度を注視する樣子は、丁度根比べでもするやうだ。

『……』

泰然として不變不動の刑部は、口を緘して否とも應とも答へない。

勘太と小六は、獨樂のやうに同じところをグル／＼舞ひながら、刑部の左右からへばりついて行つた。

『ねゝ旦那、ど、どうぞ、あつし共が可哀さうだと思つたら、御承知なすつておくんなせえやし、そ、それでないと折角助かつた生命が……ねえ旦那、こ、この通りで御座んす』

左右から、手を合せて遣ら瀨なく拜む勘太と小六、それでも刑部は依然として無言だ。

大寒の暖さ
よしだ

○山の中に爐は々〃火をたきて 立木よる女人などひらめかす
○木を出すと馬に乘りたる女往く やさしき春の繪姿を見る
○遊じまにびわの不移る窓の 花をついばみ大寒に入る

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
福島縣平市支店一丁目（電話六十一番）
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前（電大津一四七番）
福島縣四倉驛前（電平潟一五四番）
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名港、土浦町新國道日本石油給油所）
ガソリン給油所 電話八二四番

平みやげ米やの最中
尚一層風味と品價を吟味致しまして御客樣を御待ち致して居ります。
平市五丁目
米屋最中專門店
電話(呼) 二九〇番
ソセイナンヨー散 南洋蘇製社平代理店

產科 婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 大岩俊雄
入院隨意 病室完備
木村病院
平市新川町十九番地
電話一六四番

◎互融會事業報告 十二月中
融通口數 二六七四口
融通金額 一五一、九九、六〇
滿期拂戾口數 一〇六、口
滿期拂戾金額 五、六〇、〇〇
概況昭和十二年十月末現在
會員數 八、七五六口
世帶數 五、六八一戶
積立金額 三六、一七三、〇七
融通金額 一五一、九九、六〇
融通金回收高 六八、六三五、九〇
滿期拂戾口數 六四口
滿期拂戾金額 二九、二〇五、〇〇
一、社會公共事業及慈善事業へノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通
太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市揺槌小路一番地
電話五五五番
小名濱方部 小名濱町古港
湯本方部 湯本町天王崎
菊田方部 植田町本町
相双支部 原町東一番町

獨特の珈琲とWEIN 大捷の春
紳士の喫茶店
サービス一割（外拜辭）
グリル バツカス
平市銀座通 TIL 702
女店員募集
面白く眞面目に安心して働ける給料制度です
委細本人お出下さい

外科、內臟外科
エツキス光線科
產婦人科
……新設……
院長 安齋徹
醫學士 黑澤廣
平市田町
入院隨意
安齋醫院
電話四七五番

夜間診療
松村胃腸性病科醫院
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
（見習看護婦募集）
（平市南町電一〇一七番）

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵 機械
KS 井尻七三郞商店
福島縣平市鍛冶町十一
電話五二二番
荷受場 平市鍛冶町廿三番地
倉庫 平市鍛冶町九番地
御買上品精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます
十二封度レール、トロ車輪付屬附鐵工工具品 新品着荷致しました

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
万織田材木商店へ
福島縣平市
電話平四六〇番
營建築木材一式
業銘木・ベニヤ板
種秋田產・杉四分板
目建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試を乞ふ

出征服特賣
髙島屋の洋服
新柄背廣
レンコート
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

合旅 大圭舘
東京上野驛前
下谷郵便局橫通角
電話下谷㊐六七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

和洋
建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
片寄製作店
平市五丁目四
電話四八四番
片寄小彌太
十五、六歲以上の見習徒弟募集
御希望の方は至急申込下さい。

お醬油は……ヤマフル
醬油 山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

魚は凍魚
日本水產 特約
平製氷會社
電二八〇・三六番
エビ 甘鯛 マナ鰹 白魚 帆立貝 ワカサギ ウニ貝燒
ヒマル凍魚
四丁目 大國屋 印 魚問屋
電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

產科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
病室增築、手術室完備
往診隨時
平市新川町 「電話三二六九番」

月曜論壇

舊正月の正認識

曩に一ケ月以前に於て光輝ある戰捷の新春を迎へた吾人が其の正月を送らんとする本日を以て再び舊元朝に會ひ夫々正月の行事を繰り返すはまさに暦面の道化であり、諸事節約緊縮を必要とする當今に於て傳統の墨守から來る二重生活の改善に就てはお互相當の關心を拂はねばならぬが、由來此種の舊慣故俗は其の根底頗る固く所詮大衆の自覺に俟たねばならぬ處であり、結局時の經過によつて解決さるべき問題と云ふより外無いのでそは生活改善に携はる先驅者の今後に於ける運動に庶幾するとして、吾人は之の舊正月なるものを最も有効適切に意識する方法として再び新年初頭の心理に還り、刻下の非常時に對處する緊張を一段深刻ならしむるのよすがにし度いと思ふ。即ち曾て三十日以前に於て樹立した一年の大計を更に補足して之をあり強靱ならしめ大に將來の活躍に資すべきであると確信する。而も官民一体となつて事變の第二段階に對する覺悟を一層明瞭にし、長期抗戰に對處する實際方策を講ずるは此際吾々國民に課された共通の責務であり。近衛首相が過ぐる地方長官會議の訓示中『前線に在る將士をして銃後の憂ひなからしむる事こそ、時局に處して最も力を致さるべきところ、內治の喫緊事これより大なるはない』とあるは蓋し何人も直に肯背し得る言葉である『國民みな戰場にある心構へを以てこの國の大事にその本分を盡す』べきは云ふ迄も無い。石城の小天地に於ける此種の國民運動が大局に果して如何なる貢獻をなすかは姑らく問はず少くともピラミット頂上最後の一石も其れは蕞爾なる力の集積以外斷じて何物も無い以上お互は小なりと雖も貴重なる力の結束を以て最終の建設に應分の力を致すべきである。年頭感の反覆も些か妙であるが舊歲且に方り寸言以て大方の清鑒を仰ぐ所以である

天候は愈よ大丈夫
明日の賣初め惠まる
恒例の賑ひを現出せん

愈よ明後二日の賣初めは前景氣の比較的沈靜だつたに反し、趣向を凝らしたビラが一枚の新聞に十枚も折り込まれて今朝から俄然ピッチが上げられけふの舊元旦は好晴無風、二日市の前奏が本格になつて明日を當て込む各店頭は、新らしい仕入品は愚か、在庫品一切を總動員して堆高く積み上げ顧客の吸收に手具脛ひいてゐるさま、年一度の一大商戰を前に脈々たる活氣は商店街の隅々迄遍滿してゐる。例によつて今夜は早くから店をしまつて明日に備ふる英氣を養ひ、早い處は十二時早々から店を開き緣起の良い一番乘りの客を待つと云つた仕掛け、天候も大丈夫の折紙が附いたし曉闇に朗々たる鷄鳴を聞く頃ともなれば本町通りの鋪道など恐らく人の氾濫で肩摩轂擊の大賑ひを展開する事であらう

萬引に光る眼
警官多數出動警戒

この天候から時局柄とは謂へ落を告げたので今三十一日へ例年に劣らぬ人出を見越した平署では自動車運轉區域の制限其他市內の雜踏を取締り多數警官により交通關係をはしめ事故の絕無を期す外大商店には私服の警官が張り込み萬引の出沒を警戒する筈である

湯本町助役
仲里氏再選

湯本町助役仲里顯太郎氏は明一日任期滿了となるので町では昨三十日午后一時から町會を開いて附議、滿場一致再選に決定した

同町會では表町區長代理久野友親氏を推薦、追加豫算を可決、傳染病豫防委員は保留となつた

農事講習會

郡山農事試驗場主催の農事講習會は既報の如く來月十七日から二十一日迄湯本町水野谷公會堂で開くが講師は本場安田技手、科目は作物と肥料、郡農會から青山技師柴田技手出席

横山の身柄
平署へ

株券詐欺犯横山久(三六)は原の町署管內の取調べが一段

寒さも越えて
嬉しい春の歩み
晴姿の小僧さん

平市區長會　來月三日午後一時から開き此程開かれた市町村長會に於ける縣知事訓示事項の傳達、其他を附議

兎泥捕る　赤井村三島鈴木某方雇人(一八)同字永山仙助(三一)の兩名は去る十五日夜同部落內の夜警の途次出來心から同字田久彌一郎方の兎三羽(二圓四十錢)を失敬、隱してゐたことがバレて平署へ

米屋の初賣　市內五丁目米屋菓子店では明二日の賣出しに三十五錢の最中を三十錢に割引し尙ほ人氣袋其他景品付の廉賣を行ふと

小名濱の賭博　小名濱町古港漁夫絹谷某(一九)賀幸某(二九)何れも假名—同町下町磯貝長八(三三)の三名は去る二十八日夜同町內番屋で丁半賭博開張中を平署に檢擧

二月暦

戰捷に明けた3日しかないが日曜は全部で8年もあすから二月だ、二十八日

四回、それに十一日(金曜日)の紀元節が加はつて勤め人は丁度五回休めるわけ

一日が舊の二日市、心配したチフス騷ぎもどうやら落ち着いたしこれで近鄕のお客さん達も先づ安心して街に出られるといふもの、福は內……の聲も晴れやかに三日の節分の夜が明ければ嬉しい春立つ日。記錄的の寒さ、風の日から一轉、日は延びるし、暖かさも加はつて土堤の枯葉の蔭には生ひ〳〵しい新芽さへ覗く

七日はもう初午である

舊習打破の聲に年々その蔭を潜める名物鳥小屋は月も半ばの十三日、今年は果してどれ位建つものか七小屋詣りを目指す若人達は早くも『その夜の樂しみ』に胸を躍らせて居り、翌十四日は弟子や小僧さんに嬉しい『里歸り』新調づくめのいでたちに肩いからして行く——そこには樂しい吾家が待つてゐるのだ

慰問袋　平陽女學校では慰問袋百一側を平市役所へ寄託

林大將講演概要
廿五日夜第三校で
(六)

◇これはイギリスの例であるが、その當時兵隊になることを忌避するものがだいぶあつた、由來イギリスの國民は平素から利己主義を叫んでゐるのでとても戰爭を嫌がる國民といはれてゐる、だから終ひには徵兵令を設けて兵隊をつくつたものであり、また耶蘇教徒のうちには戰爭に出て人を殺すことなどは主義に反することであるといふ聲も起つたので、更に兵隊の勸誘隊といふものが結成されて戶別に兵隊を徵發したのである、町內には勸誘委員といふのが出來で、片つ端から兵隊の狩り出し運動が起り、自分の下宿してゐたところへもこの委員一行が來て第一線への勸誘を受けたものである

◇次には外國の惡宣傳のことについてお話しする。戰ひが長期になるとどうしても國內の筋金がゆるむものである、このゆるんだところへ次から次と外國の惡宣傳が入つて來ることになる、ドイツの敗因は筋金のゆるんだことに因るといつても過言ではない、惡宣傳についてはいろ〳〵見聞したが、例へばその當時バルカン半島で非常な慘虐事件が起つたといふ、人間を壕の上に並べ置いて、一人づゝ壕の中へ叩き落して殺した、といふことが宣傳された、これなども後で考へてみると一種の宣傳だと思ふ當時は人心が激昂してゐた戰爭が始つてどちらが正しいか、どちらが正義の兵であるかといふことがまだ判然と世界の人々に判らないうちに、かういふ宣傳が各所に起きたのである

◇またバンフレットによつて不安な空氣を誘發したり、流言蜚語なども充分取締らなければならないことである、恐らく今後の戰爭に於てはだんだんかういふ惡宣傳といふものが盛んに用ひられることゝならうそこで必要なのは銃後國民の度胸である、風評などには決して迷はされぬやうにしつかりした氣持を有たなければならない、物ごとを過信する癖がついてしまふとすぐに宣傳にひつかゝつてしまふものである、現在の狀勢ではまださういふ懸念はないだらうが今後長期の及ぶと國民の思想が亂れる場合がないでもない今から中堅人物は充分用意し、考へて欲しいのである

菅本利雄君惜や病沒
平商出身の小壯實業家

市內一丁目出身菅本利雄君は○○方面で病氣に冒され○○病院に入院加療中の旨部隊長から通知があつたが更に戰友から遂に病死した旨の通知あり實家では原隊に照會中である

同君は市會議員菅本庄治氏の獨息子で大正四年平商業學校卒業、米穀商を營み、平商友會の會長に推された事もあり有爲な青年であつた

該當者が無い　既報、病死を傳へられた○○上等兵佐藤憲雄君は高久村に該當者がないので目下同村役場で照會中

第二次精神總動員
平市で實施事項協議

戰時下に於ける第二回國民精神總動員强調週間は來月十一日の紀元節をトし同日より實施されるので平市では週間中に於ける實施事項に關し來月四日午前十時から振興委員會を開いて協議する

擴聲器

◇きのふは舊の大晦日、こゝ鎌田遊廓でも年一度の忘年會が開かれた。紅白の幕、休業の貼り紙も晴れやかに從業員?にとつて待ちに待つた解放の夜は靜かな雨の音に一入氣分を落ちつかせ、飲んで唄つて唄つて飲んで——大に日頃の苦勞を忘れたがそれでも時局柄ズーッと早目にきり上げたやうだ

遺家族就學資金申請

既報、今次事變に鑑み應召軍人中の貧困遺家族子弟に對する就學資金は目下各町村長からこれが貸付けの申請手續きをとつてゐるが平市ではその補助二百八十三圓を三十一日縣に申請した平市內で補助を受けるものは四十七名であると

陣中を聽く
(77)

避難中の附近士民は潮の如く歸來、日一日と段賑を極めつつあり我が營舍もアンペラ乍ら漸く電燈が點る樣になりました。

幾多の死体を呑んだ○○江も刻々と平和の波に還りつつあります。抗日の誤謬認識も同時に日章旗は彌が上にも輝きを加へて居ります。

英國水道會社の電光さへ河を隔てゝ存分に沈默の闇を照らしてゐる狀態で支那は完全に皇車の制壓下に復興への歩みを辿つて來ました。

上海!あの世界の魔都として幾多の獵奇を秘藏してゐた國際都市にも春が訪れ歡樂のネオンが蘇りました春は季節のみで無く全東洋の上に歡喜と平和を齎らして居ります。明朗支那!そして明るい東洋の出現も目睫の間に迫りました。

新政權は單り支那の新政權に非ずして世界全土の政權であり平和の基礎で有ます、弧立無援の蔣の抗日や政權補强、それは引かれ者の小唄と云ふべきでせう。(後略)

獵奇的の國際都市
上海にも春の訪れ
市內田町出身　大竹庫君(通信)

期待に副ふ
市內大町出身　山崎信男君

—寒氣漸く相加はり益々御清祥賀し奉ります只今は御懇篤なる御手紙を賜り厚く御禮申上げます、小兵も身を軍籍に置きたる上は皆々樣の御期待に背かざる信念の下に奮闘を續けて居りますから他事乍ら御休心下さい

○月○○日○○上陸以來○支着○○、○○と轉戰し○○○に入城して一ケ月半駐屯して居りましたが○月○日更に前進して○○省○○に到着目下駐屯致し當地で昭和十三年の御かしき新春を迎へました

○○○は○○省のほゞ中央○○盆地にて人口三十萬省第一の都會である、周圍に續く城壁は高さ十米乃至二十米厚さ十四米全部地下室の設備あり我が皇軍の惡戰苦闘で勝利は新聞紙上で承知のことゝ存じます

今や風肅々として○水寒き時偏に諸氏の御多幸を遠く○支の空よりお祈り致します

絕對安心確實ナル

シンガーミシン販賣

絕對に故障がなく糸の調子も良く無料で教授を受けて永久に使用せられ責任保証のミシンは安心して買へるシンガーミシンである

平市田町　シンガーミシン會社　石川ミシン商會

ミシンはシンガーに限る

家庭用ミシン　職業用ミシン　月賦大販賣　見切中古ミシン　部分品修繕　金融賃貸交換　(カタログ定價表進呈)

最新式穴の傷まぬ洋式ドンコ帳簿　一圓、一圓八十錢　二圓五十錢　書く手間が要らぬ

デリカ切拔き住所錄(人名簿)　二〇〇名、三〇〇名　五〇〇名、一千名、各種

魁文堂　電話313番

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　多たんの日なれども秩序正しければ發展あり▲二黑　移り氣と口をつゝしみてふん闘すれ吉大吉と成る▲三碧　志を堅くしせい根の限り働けば失ふことなし▲四綠不百實行の日根氣足らざれば災に見舞はる▲五黃　正路をふんで進めば刻々と發展し行くべし▲六白樂々と伸び行く日なり名弘め開店何れも吉▲七赤　自負心を生ずる時は德望事業ともに失墜す▲八白刻々と發展し行く幸運日新き事業にも吉し▲九紫　人の事に口を出す時は爭をせおひ込むべし

舊正月二日　火曜　甲子　友引　閉翼宿　新二月一日

滿潮前五、四〇　後四、二〇　干潮前一一、一五　後一一、三〇

一日(小名濱劉鉄四發表)

◎舊二日市景品に付て

一、現金にて御買上の方に景品を呈します

一、現金にて商品券御買上の方にも同樣景品を呈します

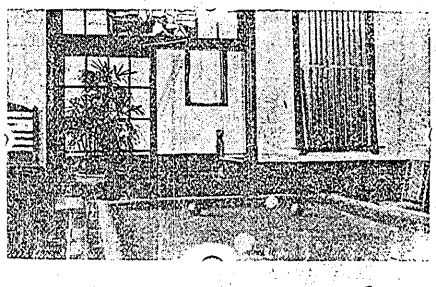
但し商品券にて品物御買上の場合は景品は差上ません

二日市の景品は右の通り御實行せらるゝ樣御願致します

平商工會

平市各商店御中

平市御客樣御中



季節料理　小鳥料理

鐵道指定旅館割烹　小瀧鑛泉　電話小名濱一〇三

ベークライト職工見習募集

一、募集人員三十名

一、年齡十四歲以上二十歲迄ノ男子

一、待遇

十四歲—十六歲日給七十五錢

十七歲—十八歲　八十錢

十九歲—二十歲　一圓

技術修得ト共ニ漸次昇給ス

一、寄宿舍の設備アリ、賄料ハ實費トス

一、申込所　平市職業紹介所

詳細ハ、ミクニ工業所若クハ平職業紹介所ニ問合ハセラレタシ

京京市大森區大森町入新井町七丁目二六二

ミクニ工業所　電話大森六九〇九番

皮膚科　泌尿器科　性病科　專門

診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ

平市田町　江尻醫院　電話六九一

入院隨意　醫學博士　江尻伊三郎